



発行所 長崎県大村市250番地 大村市役所印刷所 印刷所 つじ印刷所 定価 一部五円

水も洩らさぬ態勢へ

地域でも實情に応じた計画を

いよいよ雨期が近づきますが、長崎海洋気象台の予報によれば、この梅雨は陽性型で極地的に大雨が降り、台風も本土に上陸すると見られています。

一昨年の大水害の復旧工事がまだ完成していない現在、日雨量三百以上の降雨があれば、現在の河川は決壊のおそれがありますので、市としては万全の水防対策を講じ、もし被害があれば最少限度にとどめるよう、関係方面に協力を要請しています。

近づく雨期に備えて

なほ、五月二十七日警察、消防団、町務連絡委員、溜池管理者など関係者があつまって水防対策協議会を開きましたが、地域、町内、公民館、各種団体等の会合などで、それぞれ地区や実情に応じた対策を話し合い、臨機応変、処置できる知識をもつとともに、実施計画を立てていただき、皆さんの協力を得て水も洩らさぬ態勢をととのえたいと思ひます。(消防本部)

「危険区域」

特に危険区域としては

- ①河川の未復旧、未完成の地域で、ことに大上川金丸橋上・下流地域
- ②浸水地域としては駅前付近水田住宅、杭出津住宅、水主町付近

「情報の収集」

①雨量や水位を早急を知るため、雨量・水位観測所を設けて、その責任者から刻々状況を通知してもらいます

無線電話で機動性を確立

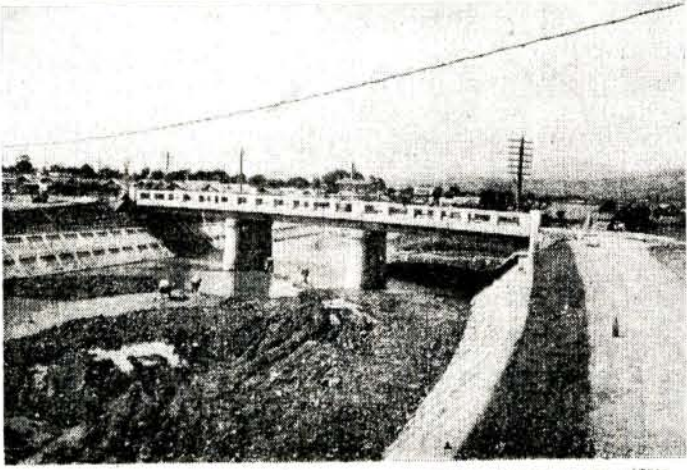
②被害状況収集のため町務連絡委員、青年団員などに情報収集を委嘱し、消防団員、出動所長とともに早急に災害対策本部に情報を通知してもらいます

③通信連絡は一昨年の水害時の体験により、市役所と松原、菅瀬、三浦の各出張所に災害用無線電話機を設置しています。各出張所の無線機は災害地に移動して通信できます

気象の予報

長崎海洋気象台発表の三ヶ月予報はつきのとおりです。
①今年の梅雨は陽性型で、雨量は平年よりやや多く、晴天の日も多いが、特に七月の初めころには極地的に大雨が降るおそれがある。
②八月には台風の接近が予想される。台風は六個くらいで、そのうち本土に上陸するのは三個くらいである。

ご存じですか
○水道の新設工事設計手数料は五十円です。また水道の増設変更工事手数料は三十円となっています(水道課)
○机の手入れ=飲みものこしの牛乳を布に浸し、それ時々机や床の間をふくようにすると、美しく艶がでて若返る。



手真は元成した並丸備

一周年花いっぱい運動

八日・歌の発表や植樹式

大村市の花いっぱい運動は、六月八日フラワー・センターを中心に、盛上る地区民の意欲の成果となつてまいりました。このため、これが記念行事としてさらにこの運動を強力に推進する意味で、大村市花いっぱい推進運動協会の育成に努力された各職域

団体、学校のグループに対し表彰状や感謝状が協会から贈られることになっています。また、この日の意義を新たにするため陸自大村部隊の音楽隊による、花いっぱい運動の歌や童謡数曲が中央公民館で演奏されるほか、花いっぱい運動の提唱者である西川武治先生の童話や人形劇などが予定されています。(商工水産課)

あぶない所は早目に避難

誘導は消防団員

〔避難・立退〕
①市の災害対策本部では気象情報、その他の状況を総合して、もしその地域が危険であると認められた場合は、サイレン、警鐘などの信号によって危険の切迫、あるいは避難・立退きを知らせるとともに、主として消防団員に避難・立退きを誘導させます。

河原・寿古、大上川川の間丸橋側、鈴田川の陸平の四カ所に水防倉庫を設置しており、倉庫にはそれぞれカマス、丸太、なわその他を整備しています。

納税に対する意見や苦情を

△六月五日午前十時から午後四時まで大村商工会議所(税務課)
△期日、場所 六月十二日午後一時三十分～三時三十分 中央公民館
△献立 ①マーメイドの作り方②リンゴジャムの作り方③初夏の飲み物の作り方④その他

注意報、警報の種類

①大雨注意報：全体の雨が、あるとき、量が八〇ミリ以上、冬季(1)大雨警報：一日の雨量は五〇ミリ以上が予想されるとき、二〇〇ミリ以上を予想されるとき。
②強風注意報：風速一三(2)暴風警報：台風時風速一五以上、雨量八〇ミリ以上を予想されるとき。
③大雨注意報：全体の雨が、あるとき、量が八〇ミリ以上、冬季(1)大雨警報：一日の雨量は五〇ミリ以上が予想されるとき、二〇〇ミリ以上を予想されるとき。

△講師 園芸高校石橋正夫先生
△当日コップ二個、広口びん二本を持参ください。
△申込は六月十一日まで実費六十円を添えて中央公民館(中央公民館)

米海兵隊鼓笛隊

NHK、アメリカ文化センター、大村市は日米交歓のため世界的に有名なアメリカ海兵隊米海兵隊九日、三城小で演奏

〇：六万の心が通う花いっぱい運動は、昨年の五月三十一日、大村市の旧桜田邸跡にフラワー・センターを設け、一般市民が多数参加して行われた大村市花いっぱい運動の推進運動のスタートである。この運動も今年二年目を迎えたわけである。

〇：花を愛する心は誰もが持っている。人間の美しい感情である。美しいものを見ること、自分の手に入れること、また人情の常である。そして古くから「花盗人は盗人にならぬ」といわれている。しかし、みずから、双葉から手く水くれ育ちあけ、まさに満開になるように育てる。この運動の一輪を、翌朝は心なりの手で折り取られていたとすれば、「あの花は誰かが「きれいな花だ」といって眺めている。う」といってお人好しの感情などは起らず腹が立つのがあたりまえだ。

